

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公表番号】特表2009-503123(P2009-503123A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-505678(P2008-505678)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 M 5/00 E

C 0 9 D 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着色剤として銀錫合金部を有する金属粒子を含むことを特徴とする黒色インク組成物。

【請求項 2】

前記金属粒子における銀原子の含有量が 30 ～ 80 モル % であることを特徴とする請求項 1 に記載の黒色インク組成物。

【請求項 3】

前記銀錫合金部を有する金属粒子の平均粒径が数平均粒子サイズで 10 ～ 700 nm であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の黒色インク組成物。

【請求項 4】

前記銀錫合金部を有する金属粒子の黒色インク組成物中の含有量が 0.5 ～ 30 体積 % であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物。

【請求項 5】

前記金属粒子が分散剤で分散されていることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物。

【請求項 6】

インクジェット用インクであることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物。

【請求項 7】

インク組成物の液滴を吐出して、上記液滴を記録媒体に付着させて記録を行うインクジェット記録方法であって、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物を用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物を用いて形成した記録物。

【請求項 9】

請求項 7 に記載のインクジェット記録方法で作製した記録物。

【請求項 10】

銀錫合金部を有する金属粒子の黒色分散液。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

< 1 > 着色剤として銀錫合金部を有する金属粒子を含むことを特徴とする黒色インク組成物。

< 2 > 前記金属粒子における銀原子の含有量が 30 ~ 80 モル % であることを特徴とする上記 < 1 > 項に記載の黒色インク組成物。

< 3 > 前記銀錫合金部を有する金属粒子の平均粒径が数平均粒子サイズで 10 ~ 700 nm であることを特徴とする < 1 > または < 2 > に記載の黒色インク組成物。

< 4 > 前記銀錫合金部を有する金属粒子の黒色インク組成物中の含有量が 0.5 ~ 30 体積 % であることを特徴とする < 1 > ~ < 3 > のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物。

< 5 > 前記金属粒子が分散剤で分散されていることを特徴とする上記 < 1 > ~ < 4 > のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物。

< 6 > インクジェット用インクであることを特徴とする上記 < 1 > ~ < 5 > のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物。

< 7 > インク組成物の液滴を吐出して、上記液滴を記録媒体に付着させて記録を行うインクジェット記録方法であって、上記 < 1 > ~ < 6 > のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物を用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

< 8 > 上記 < 1 > ~ < 6 > のいずれか 1 項に記載の黒色インク組成物を用いて形成した記録物。

< 9 > 上記 < 7 > 項に記載のインクジェット記録方法で作製した記録物。

< 10 > 銀錫合金部を有する金属粒子の黒色分散液。